

# 6NC-EHRs シンポジウム

100万人の電子カルテDB

リアルワールドデータ

## ナショナルセンターが切り拓くRWDの世界

2026 13:00  
3.2(月) 16:30

会場 国立健康危機管理研究機構  
研修センター棟大会議室(5階)  
東京都新宿区戸山1-21-1  
+オンライン(Microsoft Teams)

参加費  
無料



RWDの活用に関心がある方は  
どなたでもご参加できます

事前参加申込は[こちら](#)から  
事前申込締切: 2月27日(金)

13:00 開会あいさつ 國土 典宏 (国立健康危機管理研究機構理事長)

13:05 JHの歩みと取り組み 青木 一教 (国立がん研究センター)

13:15 第1部 6NC-EHRs 医学研究のデータドリブンアプローチを目指して

基調講演 美代 賢吾 (国立健康危機管理研究機構) 「人の一生を仮想的に可視化する電子カルテRWDB」  
13:15-13:35

研究成果報告 利活用研究 : 土肥 栄祐 (国立精神・神経医療研究センター・神経研究所・疾病研究第三部)  
13:35-14:15 「6NC-EHRsによる難病・希少疾患診療実態解析の試みと、見えてきた課題」  
: 水頭 望 (国立がん研究センター・中央病院薬剤部)  
「6NC-EHRを用いたがん患者の併存疾患とポリファーマシーの関連」  
: 藤岡 泉 (国立成育医療研究センター・女性の健康総合センター・妊娠と薬情報センター)  
「妊娠中女性の血小板数推移: 国立高度専門医療研究センター統合電子カルテデータベース(6NC-EHRs)を用いた検討」

JHデータ基盤課 : 熊谷 千尋 「6NC-EHRs ショーケース: 6NC-EHRsの統計データカタログサイトの概要と活用」

指定発言 | 6NC-EHRsへの期待 : 中込 和幸 (国立精神・神経医療研究センター理事長)

荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター理事長)

ポスター掲示・意見交換 / 6NC-EHRsに関する個別質問受付

(6NC-EHRs利活用研究(南班、狩野班、田尻班)、JHデータ基盤課)

15:00 第2部 産学官でRWDの未来を大いに語る

パネルディスカッション 座長: 北村 真吾 (国立精神・神経医療研究センター)、星本 弘之 (国立健康危機管理研究機構)  
15:00-16:20 パネリスト : 弘新太郎 (日本製薬工業協会 医療情報DB活用促進タスクフォースリーダー)  
(敬称略) 山口 光峰 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医療情報科学部 部長)  
荻島 創一 (東北大学高等研究機構 未来型医療創成センター 教授)

16:20 閉会あいさつ 五十嵐 隆 (国立成育医療研究センター理事長)